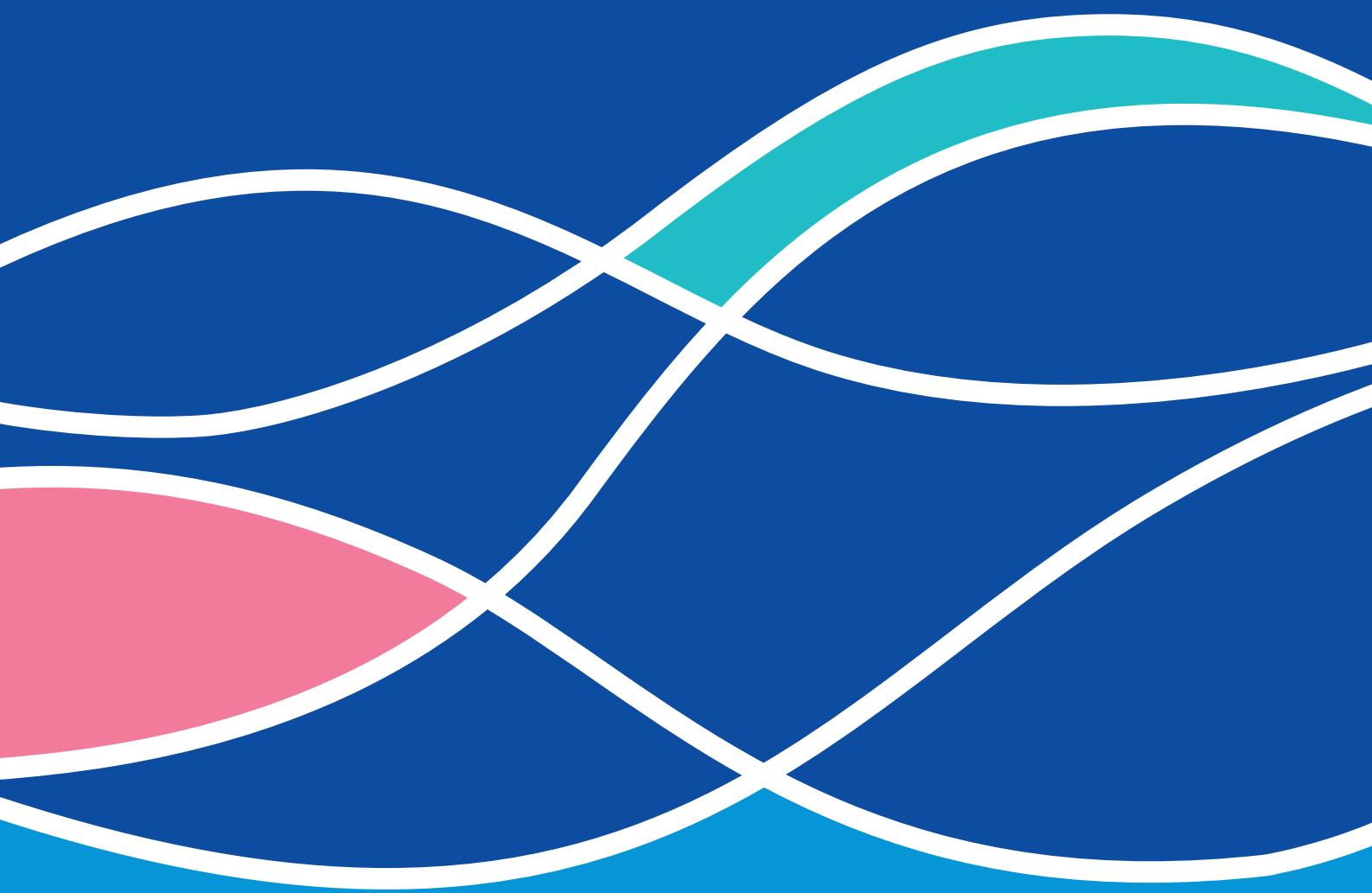


神戸大学
海洋政策科学部



VISION

わたしたちがめざすもの

育てるのは、 海のグローバルリーダーと エキスパートです。

四方を海に囲まれたわが国、日本。狭い領土にもかかわらず、領海を含む「排他的経済水域EEZ」は447万km²で世界6位になります。国内の輸出入貨物の99%以上を占める海運業や世界有数の造船業、さらに近年では領海内で海洋資源が発見されるなど、私たちにとって海は欠かせない存在です。産業や研究で、新たな海洋立国としての日本を確立する。国際ルールにのっとり、海を人類共通の財産にする。そのための人材育成を目的とするのが、海洋政策科学部です。

太陽系の惑星で唯一、地球上にだけ存在する海。全ての生命の源泉でありながらいまだに解明されていないことが多い人類のフロンティアでもあります。こうした海の研究、開発、利用を牽引する「海のエキスパート」を育成します。

海を 知る／活かす



海で 学ぶ／鍛える

その前身から数えると100年以上にもわたって脈々と日本の海運を支え続けてきた歴史が、私たちにはあります。航海士さらには機関長や船長としてのスキルはもちろん、会社経営に携わるために必要なマネジメント能力も身につけます。



海を 治める／管する

領海や排他的経済水域など、“海の国境”的根拠となる領域保全や管轄海域を管理する海洋政策の立案、外交問題の解決など、海洋立国・日本を支える海を守り、国際海洋社会をリードする人材になることをめざします。



特色のある取り組み

受験は、理系・文系どちらでも。

2類型入学者選抜

海に関する諸課題に意欲的に取り組む有能な人材を幅広く求めるため、新たに2類型の入学者選抜（文系科目重視型及び理系科目重視型）を導入します。



海に関する基礎知識を、一般教養に。

海洋リテラシー教育

海のグローバルリーダーとエキスパートに求められる「海洋リテラシー」（海洋に関する広範な基礎教養）を身につけ、めざす専門分野への学びに対する意識の向上を図ります。

練習船での実習や学習で、新たな視点を。

海のアクティブラーニング

附属練習船深江丸を活用して、海洋政策科学にかかる社会科学から理工学に渡る幅広いテーマを船上・海上で能動的に学ぶことで「主体性・多様性・協働性」を育みます。



ふたつの専門領域で、多面的に学ぶ。

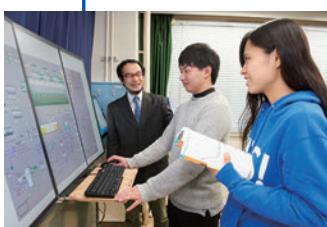
海の専門教育

海洋に関する国際的課題がもつ多様な側面を包括的に理解するために、専門教育においては主専門・副専門制を導入します。

専門の枠を超えて、課題解決に取り組む。

海のBDL (Beyond Disciplinary Learning)

主に学ぶ領域（主専門領域）が異なる学生でグループを作り、海洋政策科学分野における専門の枠を超えた「超専門的」な課題の抽出と解決策を検討。チーム作業を通じて、汎用的能力とリーダーシップの育成を図ります。



社会経験を通して、海を学ぶ。

海のインターンシップ

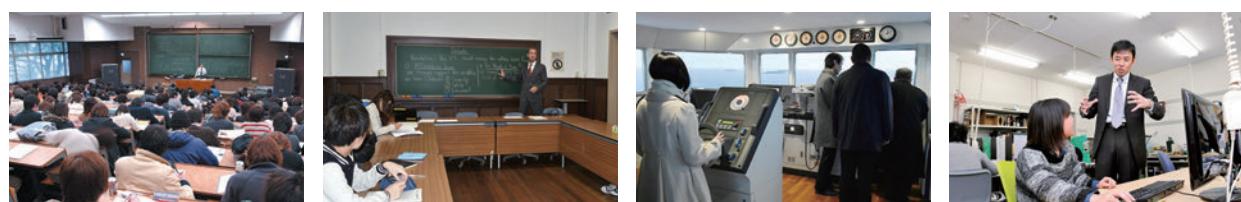
海洋政策科学分野に関連するグローバルな企業や国内外の行政・研究機関等での研修・実習・就業体験を通して実社会に通用する実践力を養い、海洋社会や海洋産業への将来の進路の意識を高めます。

総合大学の強みを生かしたカリキュラム

**実践的な知識と技術の修得、
さらに海に関する自然科学や
社会科学など幅広い知識を学びます。**

コース／領域	一般3領域			海技ライセンスコース	
	海洋基礎科学領域	海洋応用科学領域	海洋ガバナンス領域	航海学領域	機関学領域
概要	理学的観点から、海洋に係る国際的課題や海洋政策を理解するとともに、海洋の成り立ちや、海洋を含む地球システムの物質循環、海洋及び地球環境問題や自然災害、海洋探査技術や海底資源、海洋再生可能エネルギーの開発に関する専門知識を修得することで、持続可能な海洋との共生に資する基盤技術や応用科学及び技術の発展に貢献する能力を身につける。	工学的観点から、海洋に係る国際的課題や海洋政策を理解するとともに、船舶や海洋構造物、海底掘削技術など、将来の海洋技術開発に資するマリンエンジニアリングの専門知識を修得することで、海洋の有効活用を推進し、海洋の利用と開発に資する基盤技術や応用技術の創造と発展に貢献する能力を身につける。	経済学など社会科学的観点から、海事・海洋分野における科学技術を理解するとともに、様々なモノ(人、物資、金融など)の流れ、国際ルール、地政、経済、経営、政策、戦略など海洋社会に資する社会科学分野の専門知識を修得することで、人類と海・船の歴史を踏まえ、将来の海洋の平和利用に貢献し、政策立案に寄与する能力を身につける。	商船学の観点から、船の運航技術と管理に留まらず、海洋政策科学分野の幅広い知識を学び、海技士(航海・機関)としての専門知識と技術を修得することで、海事・海洋社会に関する高い見識を備え、政策立案に寄与できる海のグローバルリーダー及び海のエキスパート(神大海技士)となる能力を身につける。	
めざせる将来	海のグローバルリーダー/エキスパート				
	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院への進学 ・海洋関連企業への就職 ・行政機関等への就職 			<ul style="list-style-type: none"> ・乗船実習科へ進学してライセンス取得 ・大学院への進学 ・海事・海洋関連企業や産業等への就職 	

総合大学ならではの幅広い学び



学びと教授メッセージ

海洋ガバナンス

**現代の輸送について、
様々な角度から学びます。**

経営戦略研究室 水谷 淳 准教授

交通市場における輸送事業者間の競争構造や規制政策の交通市場への影響について、経済学・経営学・産業組織の視点から実証的な研究を行っています。研究は楽しくもあり、苦しくもありますが、苦しみを乗り越えれば、必ず楽しみが待っています。研究の楽しさを味わうために、一緒にがんばりましょう。



海洋基礎科学

**めざすのは、海や社会に
いかせる気象学です。**

海洋・気象研究室(気象工学分野) 大澤 輝夫 教授

沿岸海域を中心とした気象学と、それらの知識を基にした工学的応用に関する研究を行っています。一般的な理学部で習う気象学との違いは、より実践・実用を意識している点です。本学部の舞台である海での人間活動をより安全にし、海の恵みを最大限に利用するため、「使える気象学」をめざしています。



海洋応用科学

省エネで高機能な船舶や海洋開発機器を生み出す技術を学びます。

電気工学研究室(パワーエレクトロニクス分野) 三島 智和 准教授

電動化が進む船舶や洋上風力発電システム、海洋開発機器には、高効率かつ高品質に電力を生成・利用する技術、機械や熱など他種エネルギーに相互変換する技術、余剰分を蓄電し再利用する技術などが不可欠です。当研究室では、クリーンで高性能な海洋利用機器の開発に役立つパワー・エレクトロニクス技術(電力変換工学)を学びます。



海技ライセンスコース

船長や航海士の操船判断について研究しています。

海事人的要因研究室 濑 真輝 准教授

現実の海上交通場面では相手船の行動のために困ることが頻繁にあります。そこで、心理学(行動学)的に、人はどのような衝突回避判断をする傾向にあるのかについて実験や調査を行っています。またそこから得た知見から船員養成教育の中で如何に衝突回避判断を効率的に教育するかについて検討しています。



高度なプログラムや施設も充実



キャンパスライフ



クラブ・サークル

多くの学生が各種クラブ・サークルに入部しています。深江キャンパスに活動拠点を置く公認団体としては、カッター部、カヌー部があります。その他、ヨット、テニス、バレー、サッカー、ラグビー、軽音楽などのサークルが深江キャンパスで活動しています。



練習船深江丸

**唯一練習船をもつ
国立総合大学 神戸大学**
実習や各種実験のほか、一般公開講座、小・中学生対象のセミナー・校外学習、企業研修等にも利用されています。この深江丸に代わる、新しい練習探査船をただいま建造中です。

年間カレンダー

4月	入学式・オリエンテーション(1年生)、学科配属(2年生)、第1クォーター授業開始	
5月	深江祭	
6月	第1クォーター定期試験、第2クォーター授業開始	
7月		
8月	第2クォーター定期試験、オープンキャンパス、夏季休業	
9月		
10月	第3クォーター授業開始	
11月	六甲祭(六甲台キャンパス)、第3クォーター定期試験、第4クォーター授業開始	
12月	冬季休業	
1月		
2月	第4クォーター定期試験	
3月	学位記授与式	

©Tezuka Productions

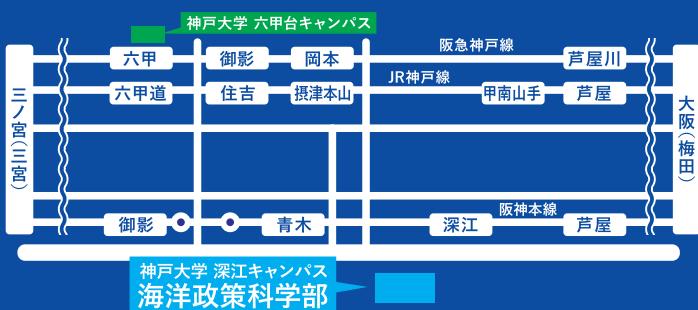
気になる情報は
サイトでCHECK!

海に開かれ、 海を拓く

海の神戸大学へ



2021年4月設置の新学部「海洋政策科学部」を推進する全学的な取り組みを、「海の神戸」にちなんで「海神(かいじん)プロジェクト」と名付け、「海の神戸大学」をめざしてスタートしました。



■深江キャンパスへのアクセス
阪神電鉄「深江」駅から南西へ徒歩約10分。
JR神戸線「甲南山手」駅から南西へ徒歩約20分。
阪急神戸線「岡本」駅、JR神戸線「摂津本山」駅から
神戸市バス43系統に乗車「神戸大学海事科学部前」下車

■六甲台キャンパスへのアクセス
阪神電鉄「御影」駅、JR神戸線「六甲道」駅、
阪急電鉄神戸線「六甲」駅から神戸市バスに乗車
(バス系統および停留所は目的地により異なります)。